

(別記様式第 15 号)

令和 4 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	麻績村
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫被害木伐倒駆除事業
事業費		530,750 円 (うち支援金: 518,000 円)

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当村では、近年松くい虫被害の急速な拡大に伴い被害量が年々増加し、予断を許さない状況である。本年度も特別防除、伐倒駆除等を組み合わせて対策を講じ、現在実施しているところであるが、一方で処理が間に合わず枯れきったアカマツも存在し、景観及び山林内の安全性向上のため対策が望まれるが、伐倒駆除等対策事業の対象外である。

(2) 本事業の目的

伐倒駆除の補助対象とならない危険度の高いアカマツ枯損木について伐倒処理を行うことで、地域の景観及び山林内の安全性を確保する。

事業内容

(1) 実施場所 麻績村 小東地区

(2) 対象者 村内の山林所有者

(3) 実施方法 伐倒処理について業者に委託し、伐倒・玉切整理を実施。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 3～令和 7 年度) 70 m³の伐倒処理

②令和 4 年度実績 25 m³



事業効果

(1) 事業実施の効果

枯損アカマツの伐倒処理を行うことで景観保全が図れる他、倒木被害等を未然に抑止し、山林内の安全性向上につながる。

(2) 継続性

麻績村における松くい虫被害は急激な温暖化進行等の影響で、比較的被害を受けにくいとされている標高が高い山地においても被害が確認されるようになってきた。枯損木も多く、今後も計画的に処理を行いたい。

(3) 普及性

夏から秋にかけて山林は深緑のため、松くい虫の枯損木が非常によく目立っている状況にある。枯損木処理事業の実施により、景観が保全されることで、当事業の PR につながる。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

今回の事業は、松くい虫被害で景観が損なわれていた地区で実施することで、景観保全を図ることができた。また、今回実施した箇所は村道に隣接している森林であるため、将来的な倒木等の被害を回避できた。

(2) 課題

伐倒駆除、薬剤空中散布等の対策事業を毎年実施し被害拡大防止を図っているが、近年の異常な猛暑に伴うマツノマダラカミキリの活動期間と活動範囲の拡大で、高標高部を含む広い範囲において被害が観測されている。今後も被害エリアの拡大とともに、枯損木も増加すると推測されるため、継続的な処理を実施したい。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

今後も枯損木により景観を損ねている箇所や、倒木により林内及び周辺道路へ影響しうる箇所を優先し事業を実施する。

事業内容を見直して継続する

事業を継続しない